

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年11月22日
タイトル	学校のみんなで稲刈りをしたよ！2018
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年10月10日（水）福山市立金江小学校全児童113名が、金江小学校のすぐ近くの田植えをした田んぼで稲刈りをしました。

水土里ネット福山の小川正光総代が管理するほ場300㎡で、6月に全校児童で田植えをし、5年生が小川さんに指導していただき栽培の手伝いをしてきました。

小雨の中、すぐ近くの小学校から歩いてほ場まで子ども達がやってきました。5年生は、一番に稲刈りをした後は他の学年が刈った稲を束にするため最後までほ場にいます。

1年生は6年生と一緒に初めての稲刈りです。6年生がやさしく刈り方をワンツーマンで教えていました。最初はぎこちなかった1年生もすぐ上手に刈れるようになりました。

つぎの2年生からは稲刈り経験者です。昨年の感触を思い出して黙々と稲刈りをしました。最後の学年は3年生早くほ場に来て4年生の稲刈りを見ていましたが、どんどん刈っていく4年生を見て、自分達の刈る分がなくなってしまうと焦って「稲を残しておいて」とお願いしていました。

5年生は、学校からはぜ掛けの足と竿を運びみんなが刈った稲を黙々と束にしてはぜ掛けしました。



5年生と保護者の方が田植えの後のお休みの日に集まり、排水対策のため、田んぼの周りに水吐けの水路をスコップで作られました。小さな溝ですが、ぐるりと周りに溝があるためよく排水され、全くぬかるんでいませんでした。

お米作りに必要な排水対策や肥料のやり方など、きめ細かな農業体験をしておられ感心しました。

田植えが終わると学校の校庭へ地域の方や保護者が集まり、5年生から籾蒔きから稲刈りまでお世話になったお礼を言いました。

小川さんから「田植えの時3株植えた稲から何粒の米が収穫できたかを調べてみる事、5年生の提案で塩水選に浮いた種籾の成長を観察したが、他と同じように成長しているので塩水選をするか来年は検討してみる事、今年から保護者が田植えや稲刈りなどに参加されたことが良かったのではないかと話されました。

後日、農業体験や学校生活でお世話になっている地域の方を招いて感謝祭を開催し、収穫した米が振舞われるそうです。ぜひ参加したいと思います。